

新庁舎建設基本計画策定委員会市民部会

第8回第1分科会 議事要旨

日時：2004年11月27日 10時00分～12時00分

場所：森野分庁舎4階 第2会議室

出席委員：井上（浩）分科会長、井上（直）副分科会長、赤堀委員、五十嵐委員、伊佐委員、大島委員、岡本委員、西川（新）委員、野口委員

傍聴者数：0名

主な議題：1. 前回議事要旨の確認
2. 意見交換（第1分科会の取りまとめイメージについて）
3. 第9回市民部会にむけて
4. その他

審議内容：

<今回のまとめ>

- ・ 報告は、「です・ます」調ではなく、「である」調にし、なるべく言い切りの表現とする。
- ・ 「1.（1）新市庁舎の役割」は項目出した表現から、一連の文章による表現にあらためる。
- ・ 「1.（3）庁舎に求められる新たな空間・機能」は、「2. 新しい庁舎の空間」の方へ移動し、以降の記述を整理してできるだけ内容の重複をさける。
- ・ その他の具体的な記述内容の追加・修正は議事要旨を参照。

<次回への継続事項>

- ・ 本日の指摘事項をふまえて、報告素案を取りまとめる。記述内容に関し、特に要望があれば事務局に個別に連絡する。
- ・ 次回第9回分科会は発表会となる。各分科会20分で取りまとめた内容を報告することになっている。

《議事要旨》

1. 前回議事要旨の確認

- ・ 議事要旨（案）に基づき報告。
- ・ 4ページの5行目、「カフェテラスのようなスペースを設け、・・・」との記述があるが、これは、執務空間にあるカウンターが市民と職員との間の敷居を高くしているため、緩衝ゾーンの場を設けるべき、という指摘と、職員用の食堂をカフェテリアのような快適な空間にすべき、という指摘を一緒にしてしまっている。この点は、区別して記述すべき。
- ・ 4ページの8～9行目、「職員も変わる」との表現は、「職員も新たな気持ちで取り組める」とした方が適切。
- ・ 4ページの中ほど、「IT化の進展により、・・・」で始まる段落の最後、「できることもひとつ。」との表現は、「できることもそのひとつ。」の方が適切。

- ・ 4ページの中ほど、「防災拠点」について記述している部分、「展示機能にはそうした訓練も行えるような機能も含まれるとよい。」との表現があると、このままだと市庁舎において防災訓練そのものを実施するかのように受取れる。災害発生時の指揮命令系統が確実に機能するかどうか、といったシミュレーションをしておくべき、といった主旨の指摘であったかと思うので、その主旨に沿って記述を改める。
 - ・ 4ページの下から5～6行目、「国際交流協会のような場でも取り組まれているのだが、」との表現は、「国際交流協会で行われているように、」の方が適切。
 - ・ 5ページの11行目、「といったイメージを持っている。」との表現は、「といった考え方もある。」の方が適切。
 - ・ 以上の修正事項を加えた上、議事要旨とすることで確認をとり、委員の了解を得た。
- ・ 第2分科会の議事要旨、11ページの中ほど、「●その他」の項において、第1分科会で敷地が狭いとの認識に対して、その意味を「庁舎を低層にすると用地の大半が建物で埋まってしまう」と説明しているようである。しかし、当分科会での指摘の主旨は、「人口40万人の町田市の市庁舎の敷地としては、決して十分な広さではない」というものである。この点、第2分科会に伝えて頂きたい。

2. 意見交換（第1分科会の報告（素案）について）

●全般について

- ・ 「です・ます」調の表現となっているが、やや主張が弱く、他人事のように感じられるので、「である」調としてなるべく言い切るように表現を改める。

●「はじめに」（1ページ）について

- ・ 第1分科会に与えられたテーマについて、ここで触れる。

●「1. 新しい庁舎の姿（1）新市庁舎の役割」（2ページ）について

- ・ 「はじめに」と「基本理念」にはさまれて、やや位置づけのあいまいな文になっている。また、新しい市庁舎の役割は、必ずしもここで項目として取り上げられた3つだけではないだろう。
- ・ 3つの項目立てにすることはやめ、一連の文章として総論的にまとめることとする。
- ・ 特に、①の記述にある「中心市街地の中核施設として」の役割は、市庁舎にとっては違和感がある。「中心市街地」と特定するのではなく、「町田市全体にとっての中核」的なニュアンスの方が適切。

●「1. 新しい庁舎の姿（2）基本理念」（3～6ページ）について

- ・ 基本理念を6つの柱によって構成することについて、確認をとり、了承された。

（3ページ）

- ・ ①の項目の下の3行目、「事務手続のために行く場所から、」との表現は、「事務手続のために出向く場所はもとより、」の方が適切。

- ・ 3つめの「・」の段落、「開かれた場所となるべきです。」の後ろに、「町田固有の情報を積極的かつ活発に発信できる場所となるべきである。」との記述を追加してほしい。
- ・ 下から2番目の「・」の段落は、議会についての個別具体的な内容になっており、後段の内容と重複がある。ここは主旨を簡潔に記し、具体的な内容は後ろに移動すべき。

(4ページ)

- ・ ②の項目には、建設費用や維持管理費用についても触れてほしい。
- ・ 「作り方」「使い方」「手のかけ方」もシンプルにすべき、との主旨を文章に盛り込むこととする。
- ・ ③の項目の1行目、「機会均等な参加機会」との表現は、「機会」が重複している。「機会均等な市民参加」などの表現の工夫が必要。
- ・ 下から4行目、「誰もが美しいと感じる」とあるが、美しさは主観的な要素が入るため、「可能な限り」という表現を加えた方が適切。
- ・ 一方で、ユニバーサルデザインの原則として盛り込まれていることは間違いなく、主旨は活かしたい。
- ・ 「ユニバーサルデザインの原則のひとつである、誰もが“美しいと感じる”という理念を実現するために、可能な限り空間面でも十分な配慮をすべきである。」という表現にして、両方の主旨を活かすこととする。
- ・ 下から2行目、「“心”や“もてなし”」の箇所は、「“心づかい”や“もてなし”」とする。

(5ページ)

- ・ ④の項目の3行目、「ボランティアの拠点となるなどの」との表現は、「多目的に活用できる空間となるなど」とする。市庁舎は、災害発生時の情報収集・司令伝達の拠点となる場所で、多数のボランティアや避難者の集合する場所は別に位置づけられている。
- ・ ⑤の項目の4行目、「騒音や排気ガスに対する対応」は切り分けて別の段落で記述する。ここでは、「自然エネルギーを効率よく活用する配慮」など、エネルギー面について記述した方がよい。
- ・ その後ろの段落に、騒音や排気ガスに対する対応として、緩衝緑地の整備などに言及しておく。この点は、周囲から庁舎に対する騒音・排気ガスの影響のみならず、庁舎ができることによって周辺に及ぼす騒音や排気ガスへの配慮という意味も含まれる。

(6ページ)

- ・ ⑥の項目の一番下の段落、「また、永く使われる前提として、・・・」の部分は、一番目の段落と重複するので削除する。
- ・ 建物の使われ方に係る柔軟性についても触れるべきである。
- ・ 臨機応変な柔軟性ということで、後段の具体的な空間イメージのところで明記することとする。

- 「1. 新しい庁舎の姿(3) 庁舎に求められる新たな空間・機能」(7～10 ページ)について

- ・本項全体を「2. 新しい庁舎の空間」の方に移動する。

(8ページ)

- ・②の項目の4行目、「市民やNPOとのワークショップを行えるような空間、」は、削除する。この空間は、直接的には防災拠点としての話ではなく、また、配置を低層部に限定してほしくない。
- ・②の項目の最後の文、「防災訓練などが行える機能」については、議事要旨の修正と同じ主旨で、災害発生時のシミュレーションができるような機能といった形に表現を改める。
- ・③の項目の一番下の文章は、意味がとりにくいので、表現を再考してほしい。主旨は、どこに行っても市内のすべての支所や地区センターの情報にアクセスでき、さらに市の機関だけでなく、都の機関についての情報も入手できる、といったことだったかと思う。

(9ページ)

- ・2行目、「課題となってくるでしょう。」は、「課題となってくる。」とする。
- ・④の項目において、先に基本理念の項目で具体的すぎるとした議会に関する記述内容(3ページ)を持ってくる。
- ・⑤の項目の一番下の行、「スケルトン・インフィル」については、第7回議事要旨の記述と同様に、カッコ書きで注釈を加える。

●「2. 新しい庁舎の空間(1) 機能の配置方針」(11~14ページ)について

- ・本項の直前に、1.(3)項を移動する。その結果、本項は、修正後に2.(2)項となる。

(11ページ)

- ・①の項目の中ほどに列挙してあるうち、「〇市長室」と「〇議会関係諸室」はここからは削除する。主旨としては、一番下の段落において吸収し、表現する。
- ・①の項目の一番下の文、「あえて低層部に配置する必要がない」のは、あくまで議会関係諸室であって、市長室ではない。この点、誤解ないように表現する。
- ・市長室に近接して市長公室も配置すべきであろう。

(12ページ)

- ・②の項目には、議事要旨確認の際に指摘のあったカウンターと執務空間と間の緩衝ゾーン、相談コーナー的な場所の話を盛り込む。

●「2. 新しい庁舎の空間(2) テーマに応じた個別空間のイメージ」(15~24ページ)について

(15ページ)

- ・2行目、「提案整理しました。」は、「提案を整理しました。」に訂正。
- ・下の表中の下から5行目、「最新ものとし、」は、「最新のものとし、」に訂正。
- ・下の表中の一番下の行、「英語併記とする。」は、「英語等を併記する。」とする。

(16ページ)

- ・表の下から2つめの項目、「キッズスペース・・・」において、急な病人などへの対処の

ために、救急救命のための備品などを準備しておくことを盛り込めないか。

- ・医療行為の課題もあり、なかなか市庁舎内ですべて対応することは難しく、原則として救急車をすぐに呼ぶ対応となる。
- ・庁舎が完成するまでの間で状況が変化していくことも考えられ、来庁者の緊急事態に対応できる備えをしておくことも考えるべき。

(24 ページ)

- ・⑥の項目の一番下の段落、「情報弱者」に関しては、特段「身体障がい者や高齢者など」との表現は不要ではないか。
- ・わかりやすさのためには、例示があった方がよい。
- ・ことさら身体障がい者や高齢者だと情報弱者であるとの印象を与えない表現の工夫をしてほしい。
- ・同じ段落の「デジタル・デバイド（情報格差）」は、単に「情報格差」としてよい。この語に限らず、カタカナ用語を必要以上に用いていないか、あらためて確認してほしい。

●「3. 課題」(25～26ページ)について

(25 ページ)

- ・2番目の「・」の段落、「オプティマなどの検討を平行して進めているとのことであり、」との表現は、「オプティマなどの検討を平行して進めており、」でよい。
- ・「オプティマ」という用語は非常にわかりにくい。
- ・オプティマとは、いわゆる“行財政の最適化”という意味であり、その主旨で町田市において行政内部の効率化を進めている活動を指す。既に庁内及び広報においてもこの用語を用いて説明されており、それが通例化している。
- ・この部分については、事務局の市の側で表現等を確認・吟味してわかりやすい文案を考えてほしい。

●「資料2. 機能配置イメージ(その2)」(資-2ページ)について

- ・市民ホールや都営住宅の部分にまで、将来的な拡張可能性があることを示唆する表現(点線などで)を追加してもよいのではないか。
- ・市道町田78号線手前の道路と町3・4・39号線の道路幅は、もう少し広く表現する。
- ・JR横浜線沿いの道も点線で表現する。

3. 第9回市民部会に向けて

- ・次回第9回は、会場を健康福祉会館4階に移して発表会となる。
- ・各分科会20分ずつの発表時間となる。
- ・10時から12時までの開催予定。会場の都合上、終了時刻は厳守。
- ・次回は各分科会からの報告(発表)が中心となり、議論は予定していない。

4. その他

- ・本日が実質的な議論の最終日となる。この間の熱心な議論、分科会長・副分科会長の取り

まとめに感謝したい。

- ・ 報告（素案）について、個別の記述に関する指摘・修正要望があれば、直接事務局の市あてに連絡頂きたい。

《分科会で使用した資料》

- ・ 前回分科会の議事要旨（案）
- ・ 資料1. 第1分科会（施設）報告（素案）

以 上